

令和6年度沖縄総合事務局所管農業農村整備事業 優良工事等における表彰式の開催について

受注者の設計・施工技術のレベルアップ、地域貢献活動への積極的な取組等について、受注者の意欲の高揚を図り、事業の円滑な推進に資することを目的に、沖縄総合事務局が発注する農業農村整備事業の工事等のうち、その成果が優秀で他の模範となる受注者等に対し、沖縄総合事務局長から表彰状の授与を行います。

1. 表彰受賞者

表彰区分	表彰部門	表彰業者・工事（業務）名
農村振興局長	優良業務部門	NTC コンサルタンツ株式会社 九州支社 令和5年度 多良間地区地下水長期取水試験他業務
沖縄総合事務局長	優良工事部門	株式会社 海邦土木 令和4年度石垣島農業水利事業 大浦揚水機場管理用道路他工事
沖縄総合事務局長	優良業務部門	有限会社 地建 令和5年度宮古伊良部農業水利事業 保良地下ダム地質調査業務
沖縄総合事務局長	地域貢献活動部門	南西開発 株式会社 令和4年度石垣島農業水利事業 石垣9号幹線水路減圧施設他改修工事

2. 表彰式の日時及び場所

(1) 日時：令和7年2月26日（水）15：00～16：00

(2) 場所：沖縄総合事務局 特別会議室

（那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館6階）

3. 取材について

表彰式は、報道関係者の方々による取材が可能です。スペースを設けますので、**取材を希望される場合は、2月19日（水）迄に以下のお問合せ先 土井まで御連絡いただきますようお願いします。**

お問合せ先

沖縄総合事務局農林水産部農村振興課 山口、土井

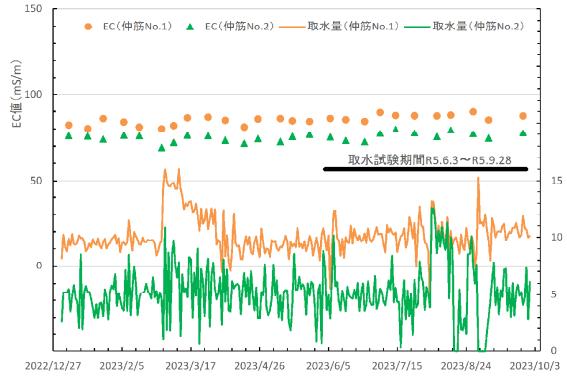
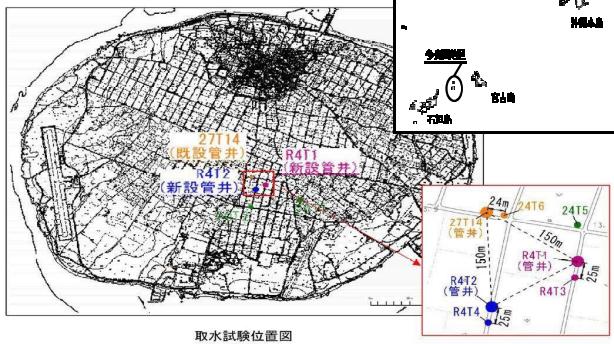
TEL : 098-866-1652 Mail : masaki.doi.u6o@ogb.cao.go.jp

【業務】

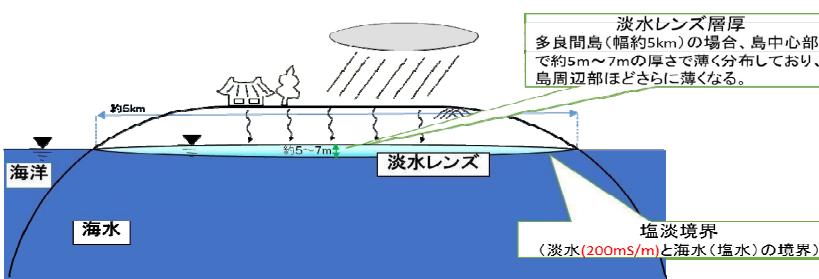
業務名	多良間地区地下水長期取水試験他業務	表彰の理由
実施場所	沖縄県宮古島郡多良間村地内	多良間島は石灰岩からなる透水性の高い地質で構成されており、海水と淡水の密度差により、海水の上に淡水がレンズ状に浮いている現象がみられる。これを淡水レンズと呼んでおり（図1）、河川を持たない離島においては生活のための貴重な水源となっている。
業務の概要		
受注者	NTCコンサルタンツ（株）九州支社	このため、今後の多良間地区の用水計画の策定に当たっては、淡水レンズを乱すことがないよう、農業用水の取水方法を検討する必要がある。
契約額	44,275千円（税込）	こうした背景を踏まえ、本業務では、現地での長期取水試験により淡水レンズへの影響を検討するため、管井を島中央部（淡水レンズ厚が厚い範囲）に配置することによる用水のEC（電気伝導率）低減効果の確認を行った。また、将来実施予定のほ場整備（標準区画長辺200m）に配慮した管井離隔距離の確認と、深井戸用水中ポンプの経済性の検証等を行うとともに、これらが上水、農業用水のEC値、淡水レンズ厚に影響を与えることを確認し、今後の水源計画の妥当性が検証できた。
工 期	令和5年4月7日～令和6年3月15日	以上のとおり、本業務はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良業務として表彰する。
<p>多良間地区の地下水は、淡水と海水の比重差により淡水が海水上部にレンズ状に存在しているため、地下水の利用に当たっては淡水レンズを乱すことがないよう、安全かつ安定的な地下水取水を確認し、地下水取水計画を含めた水源計画の妥当性を検証するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○取水試験（6月～9月） ○取水試験結果の考察及び地下水取水計画の検討 		

実施状況等

【位置図】



上水のEC値と取水試験期間 (R5年度)



取水試験の様子

地下水長期取水試験による上水への影響、用水のEC値、淡水レンズ厚への影響がないことを確認

【優良工事部門】

対象工事：令和4年度石垣島農業水利事業 大浦揚水機場管理用道路他工事

受注者：株式会社 海邦土木

【工事概要】

本工事は、急峻な山間部に機場敷地及び管理用道路を新たに造成する工事。

工事場所 沖縄県石垣市字伊原間キンブ山地内
工 期 令和4年7月29日～令和6年2月28日(580日間)
施工概要 管理用道路 道路延長 L=77.62m

【評価内容】

・コスト縮減・効率的施工

受注者からの提案により、機場敷地で試掘を行って地耐力を確認し、設計コンサルタント立会のもと詳細検討した結果、地盤改良工を行わずに敷地造成が可能となったことにより、コスト縮減及び工期短縮に貢献した。

・品質向上

出来形は、設計仕様を全て満足し、全ての工種において管理基準内の80%以内で施工を完成しており、品質が優れていると認められる。

・環境配慮対策

管理用道路の造成の際、大型土のうによる赤土流出対策や法面部への団粒化剤の吹付を用いた赤土流出対策を実施した。

・安全対策

バックホウにバックモニターを設置し接触防止に努めた。

法面作業の際は、作業員同士の接触防止や法面土砂崩壊の早期発見を目的とした管理員の常駐配置及び法面作業において、道具類の落下による事故を防止するため上下縦列の作業を行わないよう監視員を配置するなどの安全対策を実施した。

以上のことから、本工事はコスト縮減対策や、環境配慮対策などの複数の模範的な取組みが確認でき、高く評価できるため表彰するものである。

【施工位置図】



【工事写真】

【コスト縮減・効率的施工】



↑ 受注者からの提案による試験を行い地耐力を確認。地盤改良工を行わずに敷地造成が可能となった。

【環境配慮対策】

↓ 大型土のうの設置



↓ 団粒化剤の吹き付け



【安全対策】

バックホウに ↓ バックモニターを搭載



【優良業務部門】

対象業務：令和5年度 宮古伊良部農業水利事業 保良地下ダム地質調査業務

受注者：有限会社 地建

【業務概要】

本業務は、宮古伊良部農業水利事業で計画している、保良地下ダムの建設予定地周辺における地質性質評価等のため、地質調査を行うものである。

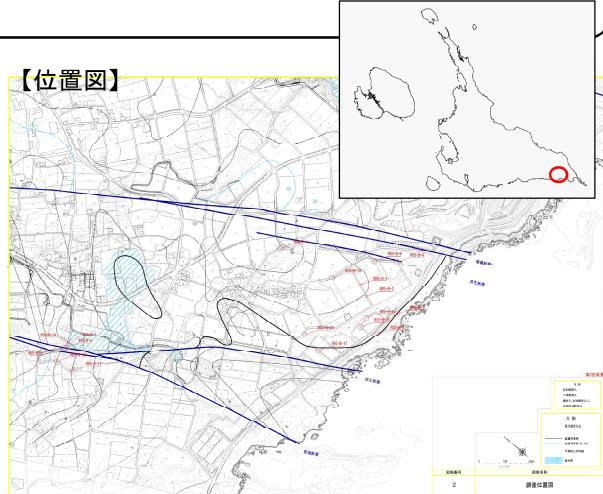
業務場所 沖縄県宮古島市城辺地内
業務期間 令和5年4月28日～令和6年3月21日(321日間)
業務内容 オールコアボーリング $\phi 66\text{mm}$ 18孔 等

【表彰理由】

- ボーリングコア試料を採取して柱状図を作成するが、記載内容は作成者の主觀による部分がある。これを踏まえた上で、柱状図の統一性や過年度業務との整合性を図る観点から、地質解析を実施するコンサルタントを交えてコア観察を実施するなど品質管理に工夫がみられる。
- ボーリング削孔時、コア採取率の低い箇所等、空隙や空洞の存在が推測される箇所について、孔内カメラを使用して孔内の状況を確認した。その結果、高精度の地質情報が提供された。
- 道路下の既存埋設物について、管理者及び発注者の現地立会のもと、調査地点を確認するなど、事故防止に努めた。

以上のことから、本業務は品質管理の工夫がみられるなど、成果が優秀で高く評価できるため表彰するものである。

【位置図】



↑ 道路埋設物の現地立会



↑ コンサルを交えたコア確認



↑ 孔内カメラによる孔内確認

